

Hoshigaoka Medical Center



With a Pride,
Like a Diamond.

看護師であるということ、 それが私たちのプライドです。

一人ひとりが、かけがえない貴重な存在。
それは、まさに『看護師』というプライドを持った、ダイヤモンドのよう…。
さらに輝きを増すために、私たちは日々努力し、切磋琢磨しています。

With a Pride, Like a Diamond.

Like a Diamond.

気高く、美しい、
ダイヤモンドのように
さらに輝きます。



看護師であるということ…、
それが、私たちのプライド。

看護部 理念

「心と心がふれあう看護」をめざします

患者さんが安心して療養できる看護を行います。
患者さんの生命・人格・人権を尊重した看護を行います。
地域の皆様の健康を支える看護を行います。

看護部 基本方針

1. 患者さんの視点に立った質の高い医療を提供する
2. 全職員の専門性を結集したチーム医療を行う
3. 急性期医療・リハビリテーションを通して
地域包括ケアの一翼を担う
4. 医療安全・院内感染防止を推進する
5. 地域に求められる優れた医療人を育成する
6. 地域の皆様に医療や健康増進の情報を発信する




Message

「心と心がふれあう看護」を看護部の理念とし、患者さんの心の機微を大切に、その人らしく生活できるよう、医療と生活の視点をもった質の高い看護の提供に取り組んでいます。

地域包括ケアシステムの要となる看護師の役割は無限大です。患者さんやその家族との出会いを大切に、HCUやSCUで高度な医療を必要とする患者さん、リハビリテーションや在宅療養支援を必要とする患者さんにも、さまざまなスキルを持つ医療スタッフと共に「患者さんのもつ機能を最大限に生かす」をモットーに連携・協働しています。

これらの実現のために、一人ひとりの看護師が患者さんの病態を踏まえ、多様な情報を統合し、判断・対応する力を身につけられるよう、クリニカルラダーを活用した院内・院外教育にも力を入れています。

当院には、急性期から回復期、緩和、在宅など、きらりと輝きキャリアアップできるフィールドがあります。

将来の看護師像を私たちとともに描き、人として看護師として成長しませんか。

看護部長 北田 美奈子

With a Pride,

一人ひとりが看護師として
「きらり」と輝く人財に。





実践力ある看護師として 育っていくための 確かな教育システムがあります。

培われた看護の心を大切に、最新の看護技術の習熟を
ていねいに指導します。

教育理念

看護職としての自律と成長を
めざして学び続ける。

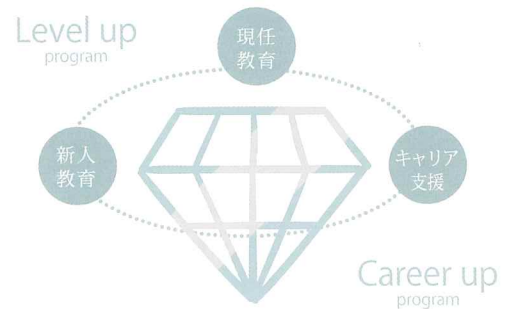
教育目的

地域住民の多様なニーズに応える
安全・安心な看護を提供できる
人材を育成する。



教育目標針

1. 社会人、専門職として豊かな感性と知性を身につけ、
質の高い看護を提供できる看護職を育成する。
2. 倫理観を備え、多様なニーズが受け入れられる看護職を育成する。
3. チーム医療・地域において、ケアマネジメントおよび
多職種の中心的役割を担える看護職を育成する。
4. 地域住民の健康の保持増進をはかる看護職を育成する。
5. 看護職が、生涯学習を自律的に継続できるよう支援する。



教育システム

JCHOの理念に基づき、地域包括ケアの要である
看護職員の人材育成と活用を重点的に強化

JCHOの理念を实践する能力の獲得と個々の看護職のキャリア発達

ワーク・ライフ・バランス

- ・働き続けられる支援

スケールメリット

- ・多様な領域から
選択できる職場環境

次世代育成

- ・共に学び、共に育つ、
看護師の養成

多様な教育体制

- ・地域医療に貢献する
臨床実践能力を育成
- ・病院機能に応じた教育

キャリア開発

- ・より高度な
看護実践者の育成
- ・質の高い看護実践組織を
創造できる看護管理者の
育成
- ・段階的に能力を高める
継続教育

step

1 新人看護職員教育

新人看護師のサポート体制

一年間かけてじっくり臨床実践能力を身につける、新卒看護職卒後臨床研修を実施。部署内教育・集合教育・ローテーション研修により成長を支えます。所属部署のスタッフが全員で新人看護師を指導するとともに、集合教育による学習で看護レベルをアップ。また、精神面はプリセプターがサポートします。



新卒看護職卒後臨床研修 ローテーション研修

新人教育の大きな特色がローテーション研修です。手術室やICU、所属部署以外の病棟で計8週間の研修を実施。多様な看護を経験することで、臨床実践能力に自信を持つとともに自分の看護の幅を広げることができます。

step

2 現任看護職員教育

看護師のキャリアラダーに沿って、段階的にその能力に合った支援方法で、実践経験を積み重ね、看護実践能力の向上につながるよう集合研修と部署内教育を実施しています。お互いに学びあい、看護職の自立と成長を目指してキャリアアップできるようサポートしています。



役割

到達目標

基幹職

看護師長

担当部署の人材・設備等を管理し、関係部門との連携を図り、担当部署における看護の質の向上を図る。

副看護師長

上司の指示のもと、担当係りの責任者として、部下や関係部門と協働して看護業務を行う。

ラダーV

チームリーダーとしてチームを運営。スタッフの看護実践モデルとなる。

ラダーIV

サブリーダーとしてチーム運営の補佐、根拠と経験に裏付けされた看護実践ができる。

一般職

ラダーIII

プリセプターとして新人看護師指導、ニーズと優先順位を考慮した看護実践ができる。

ラダーII

安全安楽・危険予測の視点を持った、自立した看護実践ができる。

ラダーI

業務の流れを理解し、チームの一員としての自覚と行動がとれる。

3 キャリア支援

当院独自のAPNセンターを活用し 多くの認定看護師が活躍

当院では認定看護師で構成するAPNセンター（Advanced Practice Nurse Center）を設置しています。認定看護師は一定の時間を自部署から離れ、それぞれの認定分野で専門的な活動を行っています。

特定行為研修修了者

13名

【認定分野】14分野19名

がん性疼痛看護	1名
がん化学療法看護	1名
がん放射線療法看護	1名
認知症看護	1名
脳卒中リハビリテーション看護	2名
摂食・嚥下障害看護	1名
救急看護	1名
集中ケア	2名
クリティカルケア	1名
皮膚・排泄ケア	2名
糖尿病看護	2名
感染管理	2名
慢性呼吸器疾患看護	1名
手術看護	1名



認定看護師・専門看護師・ 特定看護行為研修などの 資格取得支援制度を完備

認定看護師教育課程、認定看護管理者教育課程、専門看護師、特定行為研修など様々なキャリアアップを支援する体制を整えています。また、男性の看護管理者や認定看護師、特定行為修了者の活躍は、若い男性看護師たちのモデルとなっています。



クリティカルケア認定看護師



HCU
2010年 入職

専門・認定看護師 先輩メッセージ

クリティカルケア認定看護師は、集中ケアと救急の分野が合併された新しい名称の分野です。集中や救急の現場であっても患者さんと向き合いその人らしい生き方や価値を知ることが大切になっています。エビデンスをもとに患者さんに合う看護を試行錯誤しながら実践した結果、元気に退院する患者さんの姿を見ることが、私の向上意欲につながっています。

認定看護師教育在籍中のサポート体制も充実しており、資格取得後も諸先輩のサポートを受け、実践・指導・相談という認定看護師の役割を達成できるように日々頑張っています。救急診療の場だけでなく、JCHOという特徴を活かして広域の災害支援など幅広い活動をしています。

救急看護認定看護師



検査治療部門
2009年 入職

プリセプター制度

プリセプティ プリセプターさんの温かいサポートのおかげで安心

入職当初は期待と不安が入り混じていましたが、年齢の近い先輩がプリセプターとしてついてくださり、技術面のサポートだけでなく、職場に馴染めるようフォローして下さったのおかげで安心できました。また部署全体で新人を育ててくださっていることが実感できるので心強いです。



<プリセプティ> 2022年入職

<プリセプター> 2018年入職

プリセプター 心も体も元気な状態で
看護に取り組めるように

1年目は生活環境が大きく変わる中で多くの知識や技術を習得する必要があるため、心と体が元気な状態で仕事に取り組めるようサポートしています。プリセプティから技術面の質問を受けた際には、答えを伝えるのではなく一緒に考えながら、プリセプティが自ら答えを出せるように意識しています。



▲
プリセプター
&
プリセプティトーク

1日の流れ

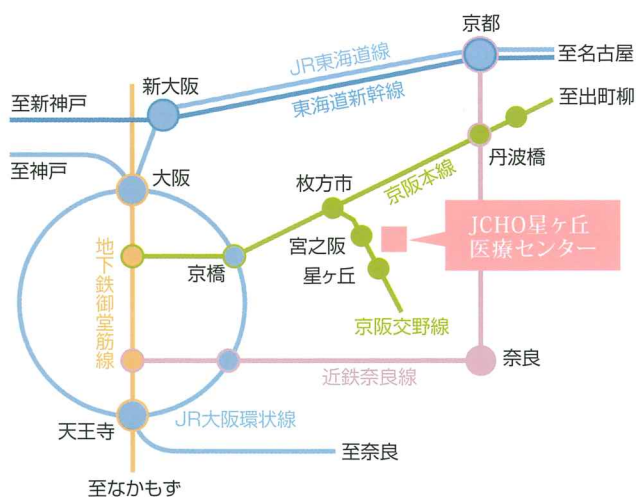
日 勤 8:30~17:15		夜 勤 16:00~9:00	
8:15	出勤	16:00	出勤
8:30	朝礼(朝の申し送り)	17:00	申し送り
9:00	観察や看護ケア	18:00	観察や看護ケア 食事介助
12:00	昼食	21:00	イブニングケア
13:30	カンファレンス	1:00	休憩
14:00	観察や看護ケア	3:00	患者さんのラウンド
16:30	記録	8:30	申し送り
17:00	申し送り	9:00	業務終了
17:15	勤務終了		

「あなたの笑顔と優しい言葉が患者にとってうれしいものなの。頑張っている看護師さんになってね」こんな患者さんからの言葉にすごく励まされます。

最初は休憩室で先輩と話すのも緊張していましたが、休憩時間のひとは先輩たちのプライベートな話を聞いて笑ったり自分の話も聞いてもらったり、リフレッシュできる時間になっています。



アクセス



交通のご案内

大阪市と京都市との中間、淀川沿いの枚方市
(JR大阪駅、京都駅よりそれぞれ約40分)にあり、
国道1号線に面し、緑に囲まれた丘陵地帯にあります。

- ★ 電車利用の方… 京阪電車「枚方市駅」から交野線に乗り換え
「星ヶ丘駅」下車徒歩約15分
- ★ バス利用の方… 京阪電車「枚方市駅」南口61番経路バス停から、
「星ヶ丘医療センター」行きバス乗車、
「星ヶ丘医療センター」下車(所要時間約15分)
- ★ タクシー利用の方… 京阪電車「枚方市駅」から所要時間約10分



独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)

星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星ヶ丘4丁目8番1号
TEL 072-840-2641(代) / FAX 072-840-2266
<http://hoshigaoka.jcho.go.jp/>

